

吉賀中だより

令和7年6月30日
吉賀町立吉賀中学校
(文責：城市)

令和7年度 学校教育目標

「**自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成**」

めざす生徒像

- 誠実な生徒 【敬愛】
- 自ら行動できる生徒 【自主】
- 新たな表現のできる生徒【創造】
- 学び合い高め合う生徒【剛健】

夏至を過ぎ、毎日ジメジメとした湿気の多い日が続きます。今年も梅雨の季節になりました。今年の梅雨入りは6月9日で平年より3日程度遅かったようですが、昨年より11日早いそうです。ということは、昨年の梅雨明けが平年よりやや遅かったので、今年の梅雨明けはほぼ平年並み（7月19日頃）かも知れませんね。などと考えていましたが、観測史上最も早くあつという間に梅雨が明けてしまいました。これからしばらく高温の天候が続きそうですが、熱中症になったり体調を崩したりしないように気をつけたいものです。



さて、昨年気がついたのですが、梅雨が近づく到校長室の窓の前の花壇に植えられているバラの花がきれいに咲き揃います。校務技術員の高木さんが毎日のように丁寧に手入れをしているお陰です。今年も右上の写真のように5月半ば頃から咲いています。とてもきれいな花びらの色に魅せられ、ふと何色と呼んだらいいのだろうと調べてみました。濃い赤色ですが、「ボルドーカラー」又は「臙脂色（えんじいろ）」が最も近い色のように見えます。臙脂色は、古代中国から伝わった色で、奈良時代から鋳物から作られた絵画や美容に用いられていた顔料が名前の由来とも言われています。臙脂色は有名なところでは、早稲田大学のスクールカラーとして認知度の高い日本の伝統色ですが、我が吉賀中学校のスクールカラーも臙脂色であると記憶しています。本校のスクールカラーについての正式な記録文書はありませんが、校章旗や前々代の体操服の色が臙脂色です。校長室前のバラの花の色がスクールカラーであるとは、驚きと同時に、校長室前のバラを誇らしく愛おしく思っているところです。

日本には、伝統的な「和の色」がとてもたくさんあり、約1,100種類あるとも言われています。和の色は古来より日本特有の文化や伝統、四季のうつろいの中で名付けられ愛されてきました。色の名前にはとても情緒があり美しい名前ばかりで、季節毎の風景や植物、鳥や動物、行事等にも由来しています。身の回りの自然や風景の中にある様々な色に気を留めてみるのも、自然豊かな吉賀町だからこそ味わえる楽しさなのだと思います。

益田ブロック総体頑張りました！

6月4日（水）、5日（木）に、益田市運動公園などを会場にして、「中体連益田ブロック総体」が開催されました。この大会は、7月の夏休み早々に開催される県総体の予選を兼ねており、県総体への出場をめざして野球部と男女ソフトテニス部は、一人一人が精一杯にそして懸命にプレーをしました。その懸命さは胸を打つ素敵な姿で、応援していてとても誇らしくさえ思いました。野球部と男子ソフトテニス部は惜しくも県総体への出場権を逃し、3年生にとっては最後の大会になりましたが、最後まで諦めず精一杯プレーする姿に胸が熱くなりました。女子ソフトテニス部は個人戦で山代・山田ペアが県総体への出場権を獲得することができました。県総体でも精一杯にプレーをし、素敵な姿を見せて欲しいと思います。

当日は暑い日差しの中、また、お忙しい中、応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、応援ありがとうございました。

◇野球部

1回戦 吉賀中 3－4 日原中・津和野中・東陽中

初回先制点を取り序盤は試合の主導権を握りましたが、中盤に追いつかれ相手チームのリードを許しました。最終回は粘りを見せ、ランナーを2塁まで進めて押せ押せムードに持ち込みましたが、あと一歩及ばず惜敗をしました。



◇ソフトテニス部

男子個人戦

ペア 1回戦敗退

ペア 1回戦敗退

ペア 1回戦敗退

ペア 3回戦敗退

女子個人戦

ペア 2回戦敗退

ペア 1回戦敗退

ペア 1回戦敗退

ペア 3回戦敗退

ペア 準々決勝敗退（ベスト8・県大会出場）

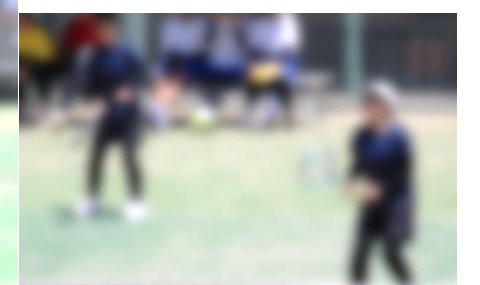
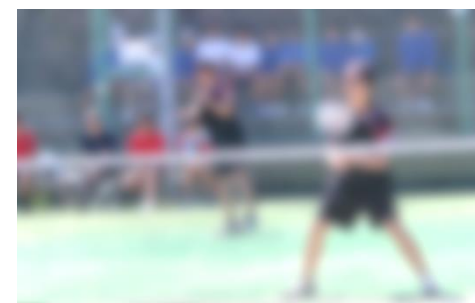
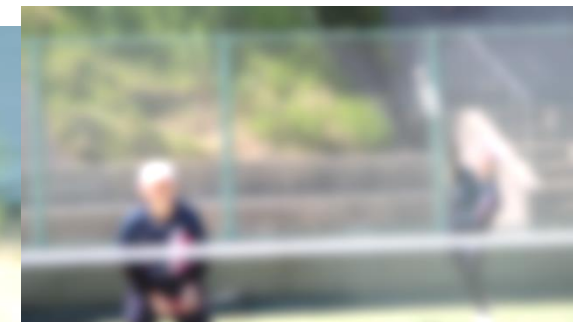
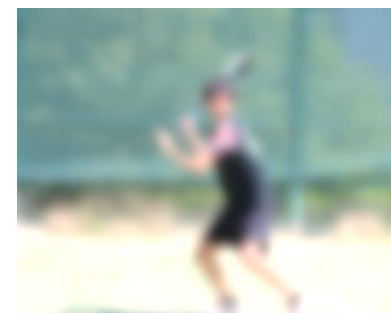
男子団体戦（リーグ戦） 吉賀中 0勝3敗（4位）

女子団体戦 予選リーグ 1勝1敗（2位で決勝トーナメントへ）

決勝トーナメント 1回戦 吉賀中0－2益田東中（代表決定戦へ）

代表決定戦 吉賀中0－2益田中

個人戦では、男女とも敗れてしまったというものの、スコアには残らない素晴らしいプレーが随所で見られ、とても惜しい試合が続きました。団体戦でも、チーム一丸となった熱い声援で白熱した試合が続きましたが、あと一歩及ばず惜しくも県総体出場を逃しました。



ふるさと学習をしました

お世話になりました

1・2年生は、6月25日（水）から27日（金）の間に、吉賀町内に出かけて職場訪問や福祉体験、ふるさと学習をしました。

- 1年生は、①福祉に関する学習や体験を通して福祉についての基礎的な知識を学ぶ
②デイサービスセンターの利用者との交流を深める
③福祉施設での体験を通して自らの進路や生き方を考える
④吉賀町に流れる高津川についての興味・関心を高める

をねらいとしています。映画「高津川」を鑑賞し、身近な高津川が外からはどんな風に映っているのか、日常的生活を高津川との関わりという視点で見ることで、普段の風景や生活の中に当たり前にある高津川を見つめ直す時間となりました。

また、社会福祉協議会の方や七日市デイサービスセンターの方には福祉体験学習で大変お世話になりました。今回は、講義やVR認知症体験を通して高齢者や認知症についての理解を高めたり、実際にデイサービスセンターで利用者とのふれあいを深めたりしました。1年生には人見知りをする生徒もあり、利用者とのふれあいに最初は尻込みする様子もありましたが、だんだんと慣れていくに従ってゲームなどのレクリエーションなど楽しく時間を過ごすことができました。最後には「また来てね！」と嬉しい言葉もいただきました。



2年生は、①働くことの意義を知る

②町内の産業や就労状況、企業が求めている人材について知る

③ふるさとへの理解を深めるとともに、自分のこれからの生き方について考えるをねらいとして、事前学習・ガイダンスを行った上で町内の事業所の見学・訪問をしたり、来校いただき直接講話をお聞きしたりしました。

今回は、「ダイノーエッグ」さん、「ヨシワ工業」さん、「津田木工所」さんに大変お世話になりました。各事業所の方がとても丁寧に事業の内容や作業の工程を教えてください、実際に作業体験をさせていただいたりとても親切に関わっていただきました。それぞれの事業所の業務の一部しか見学・体験していませんが、生徒はそれぞれに仕事の作業や働くことへの理解・関心を深めた様子でした。



忘却曲線を活用しよう

期末テストは終わったけれど

先週、1学期の期末テストが終わり、各教科のテストが続々と返却されています。中間テストでの反省は活かせましたか？テストに向けて準備を頑張り成果が表れた人にも、今回はうまく成果につながらなかった人にも役に立つ学習へ向けたヒントを書いてみます。

「今年の4月30日（水）の給食の献立を覚えていますか？」と質問すると、先週の給食献立くらいならば覚えている人は多いと思いますが、先々月の献立はほとんどの人が覚えていないと思います。答えは、牛乳、もやし肉味噌ラーメン、焼きぎょうざ、マセドアンサラダです。（「ああ、言われてみればそうだった」という人もいそうですね）

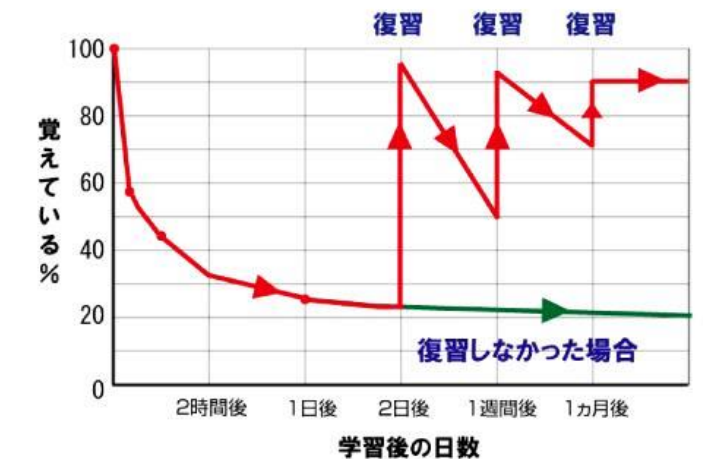
ところが、「こんなこといいな♪ できたらいいな♪」の続きは知っていますか？」と聞く多くの小中学生はすぐに続きを歌って答えてくれます。ドラえもん初代主題歌ですが、ほとんどの人が覚えているんですね。じゃあ、「この歌詞は、必至になって覚えましたが？」「どうやって覚えましたが？」と聞くと、「何回も聞いているうちに自然と覚えました」と、これまたほとんどの人が答えてくれます。実は、人は繰り返し見て、書いて、聞いて、声に出していると記憶に残りやすいようで、いつの間にかドラえもん主題歌の歌詞を覚えてしまっているんです。

このことを脳科学的に考えてみます。人間の脳というのは、時間が経つと記憶を保つことが難しいものなのです。「エビングハウスの忘却曲線」や「ウォータールー大学の忘却曲線」という言葉を聞いたことがあると思いますが、いずれも時間の経過と共に記憶は失われ忘れてしまうということと、複数回に分けて繰り返し記憶し直すと記憶がしやすく長期の記憶にもつながりやすいということが、研究の成果として示されています。

ということは、このことを学習に使わない手はありません。「授業で学んだことを複数回に分けて繰り返し記憶し直す」ということを行えば、記憶がしやすく長期の記憶につながりやすいのです。これを私たちは「復習」と呼んでいます。「勉強」と言われることの大半は「授業で学んだことを複数回に分けて繰り返し記憶し直す」という「復習」作業を表しています。

数学の復習を具体例として挙げます。数学の場合は授業において、新しい計算の仕方や考え方を学びます。これをしっかりとマスターするために、まずは学んだその日の帰宅後に数学のワークを開き今日の授業で学んだところの問題を解いてみます。スラスラと解ける場合もあるでしょうが、時間ばかりかかって結局できない場合もあるでしょう。ポイントはここです。分からない時は時間をかけない！さっさと解答例（答え）を見るのです。そして解答例を見て覚えてしまいましょう。1日目はこれでOKです。次に翌日、同じ問題を解答例を見ずにやってみます。もしもまたできない場合は、さっさと解答例を見る。これを毎日繰り返し解答例を見なくてもできるようになるまで続けます。想像してみてください。毎日繰り返しているうちに、最後は全ての問題がスラスラと解答できるようになっている自分の姿を。ワクワクしませんか？さあ！さっそく今日から試してみませんか？

エビングハウスの忘却曲線と復習の関係



3年生は、6月25日（水）～27日（金）の2泊3日で東京方面への修学旅行に行ってきました。学びの多い毎日で良い旅行になった様子です。次号で様子をお伝えします。